
告白

towa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

告白

【Nコード】

N4556A

【作者名】

towa

【あらすじ】

二人の思いは世界なんて関係なく、ただ自分と相手にしか必要のないものだ。それが「人間」なんだ。

「オレ、オマエが好きなんだ」

アツシが急に告白してきた。

けどあたしの返事は決まってる。

「ごめん、あたし好きな人がいるんだ」

あたしはシュウジが好きなんだ。

「だから・・・」

「知ってるよ。アケミはシュウジが好きなんだろ？」

「知ってるなら、何で告白なんてすんのよ！つらいだけじゃん」

あたしならそんなことできない。

だってあたしはちせには勝てない。

「つらいけど・・・そんなの関係ない。オレはアケミが好きだから。

オレ、オマエを守りてーんだ、できれば彼氏として」

あつ、すごいなアツシは。

うらやましいよ本当に、グラっときちゃう。

でも、こんな半端な気持ちじゃアツシに悪いよ。

「本当に、ごめん」

「そっか、わかった」

「ごめん」

「あやまんнатて。アケミらしくない」

最悪だ、あたし。

こんなにあたしを好きでいてくれる人がいるのに、最悪だ。

「あたしもシュウジに告白してみる」

アツシがこんなに頑張ったんだ、あたしも頑張ろう。

「おう、ガンバレ」

翌日

くそ、告白するって決めてからシュウジとよく目が合う。

やっぱあたしが意識してるからかな。
ちせはよくシュウジに告白できたな。

・・・あたしが無理矢理させたようなもんか。
結局放課後まで何もできなかった。

ハアッ、ハア、引退してから体力落ちたな。

「シュウジ！」

ちせ、怖いよ。

アツシ、アンタよくできたね。

「？、アケミ？」

（あたしはアンタが好き！あんたがちせと付き合っ、ずっと前から）
声にならないよ、くそっ情けない。

あたしはなにもいえないまま走り去ってしまった。

夜

「ハ―イ、どちらさ・・・アケミ？」

「何も言えなかった」

なんであたし、アツシにこんなこと言ってたんだろ。

「でもすつきりした」

「そっか、よかったな」

なんだろう、なんか、あったかい。

「こんなあたしでも、守ってくれますか？」

なに言ってるのあたし。

昨日あんなひどい事言っただのに。

「もちろん」

ああ、すごくあったかい。

「ありがとう」

アツシ、大好き。

（後書き）

どうでしたでしょうか？なんかかなり無理のある話になってしまいました。

こんな感じだったらいいなって希望なんで気にしないでくださいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4556a/>

告白

2010年10月12日06時04分発行